今号の主な内容

2 3／岡山県総合社会福祉大会
4／岡山県老人福祉大学閉講
5／老人クラブリーダー中央セミナー
　女性リーダーセミナー
6 7／全国老人クラブ大会
8 9／会員の声
10 11／県下各クラブの活動紹介
12／中四ブロックリーダー研修会
　女性委員会幹事会
13／県老連事業・地域の元気づくり事業
14／加入促進表彰・確定申告

晴ればれシニア 岡山

— 岡山県老連だより —

http://okaroren.info/

岡山県老連は50周年を機に愛称を『晴ればれシニア岡山』とし、広報紙の名称も変更しました。

第18号

おかやま県老連だより
（通巻87号）
平成30年1月号

和気町　自然保護センター　タンチョウ　写真提供：岡山県

すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」を目指して

岡山県知事　**伊原木 隆太**

新年あけましておめでとうございます。

年頭に当たり、老人クラブ会員の皆さまのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年は、新たな県政推進の羅針盤である「新晴れの国おかやま生き活きプラン」をスタートさせ、本県発展の好循環のエンジンとなる「教育県岡山の復活」と「産業の振興」に加え、おかやま創生実現の加速に向けた取り組みなどを中心にさまざまな施策を推進してまいりました。

教育の再生については、昨年の全国学力・学習状況調査において、小学生の平均正答率が初めて全国平均を上回るなど成果が表れてきており、今後も、目標を高く持ちながら、教師の教える技術の向上と子どもの学習習慣の定着、子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備などにより、さらなる学力向上を図っていくとともに、グローバル人材の育成に向けて、留学促進に関する施策などにも積極的に取り組んでまいります。

産業の振興については、新たな企業立地が相次いで実現するなど、着実に成果を挙げており、引き続き、戦略的な企業誘致の推進や中小企業等の稼ぐ力の強化に努めてまいります。

また、高齢者の方々が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、医療、介護、介護予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築の推進については、老人クラブ会員の皆様をはじめとした元気な高齢者の方々に、知識や技能、経験を生かし、新たな担い手としてご活躍いただくことが不可欠であります。

新プランの下、引き続き、すべての県民が明るい笑顔で暮らす「生き活き岡山」の実現に向け、本県発展に向けた好循環の流れをさらに大きく確かなものとし、県民の皆さまに、「岡山はよくなった、岡山に住んでよかった」と実感していただける県政を力強く推し進めてまいりますので、皆さまには一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

花も実もある幸せクラブの開花宣言

健康・友愛・奉仕
くらし・なかま・つくす

公益財団法人岡山県老人クラブ連合会
会長　**藤本　毅**

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい人生百年時代の幕あけであります。

少子高齢社会で「晴ればれシニア岡山」に集結する老人クラブの皆さまに心からお喜び申し上げます。

先人が築いてくれた老人クラブ半世紀の歴史と伝統を受け継ぎ今ここに、県下26市町村、2、100クラブ、115、000会員の結集する岡山県老人クラブ連合会、また岡山市580クラブ、34、000会員の姿があります。住み慣れた地域で心のふれあう仲間と共に支え合いながら心身ともに健康で安心して暮らせる地域づくりにみんなの知恵と力を出し合っているのです。

そのためには他の団体や住民参加による助け合いの体制作りが必要であり、老人クラブも参加し、その担い手として活動を展開していかねばなりません。老人クラブは単位クラブを基礎組織として市町村で結ばれ、県連合会に結集し、全国組織に連動している高齢者唯一の自主的な団体であります。同時に老人福祉法に基づく国や地方公共団体から公的支援を受け、諸活動を運営している福祉団体でもあります。

今年は会員増強100万人加入促進の全国運動の呼びかけに呼応して、岡山県老連25、000人目標五か年計画の最終年に当たり、全組織を挙げて頑張っているところです。とりわけ若手会員の加入による会の活力・魅力を高め、また男女共同参画で会員の6割を占める女性の活躍による、温もりを感じ優しさのある友愛活動など期待大であります。

〝いまやらねばいつできる、わしがやらねばだれがやる〟先人の遺訓に学びリーダーとしての〝やる気・ほん気・げん気〟が求められています。人の幸せは人の為に役立つこと、とも教えられています。

〝伸ばそう健康寿命・担おう地域づくり〟

平成30年という節目の年です。平成28年度、県下26市町村老連の正副会長会議の名において「晴ればれシニア岡山」の健康・友愛・奉仕の花も実もある老人クラブ三大運動の開花宣言を採択し、全県下の仲間に呼びかけています。総力を結集し、より広くより深くより強く展開することを願い年頭の御挨拶とします。

平成29年度

岡山県総合社会福祉大会

（岡山県老人クラブ大会）

平成29年10月5日（木）、岡山市民会館において岡山県総合社会福祉大会（岡山県老人クラブ連合会を含む8団体の主催）が開催されました。岡山県共同募金会藤本道生会長による開会宣言、大会会長の岡山県社会福祉協議会山岡治喜会長のあいさつ、伊原木隆太岡山県知事の激励のことばなどに続き、社会福祉功労のあった個人・団体に対しそれぞれ表彰が行われました。老人クラブ関係については次のとおりでした。受賞された方々におかれましては誠におめでとうございました。今後のご活躍をご期待申し上げます。

式典の後は、「加齢に負けない脳はこうすれば鍛えられる」と題し、脳科学者・諏訪東京理科大学教授の篠原菊紀氏による特別講演がありました。年を取るにしたがって脳は衰えるというのは間違いであると語られ、後出しジャンケンなどによる実験を大会参加者全員と行い、脳トレーニングの必要性を力説されました。参加者はみな会場での実験を楽しんでいました。

岡山県老人クラブ連合会長表彰

老人クラブ 特別功労者 68名

《玉野市》
深井 八重子
金廣 迪哉
香川 崇二
矢野 浩三
米澤 正昭

《備前市》
瀧川 堯文

《瀬戸内市》
重康 郁夫
正宗 功

《和気町》
畑上 毅
橋本 光臣
正清 衛一

《倉敷市》
横谷 豊秋
石居 一郎
久葉 光男
城田 義和
中山 康
吉田 豊子
阿部 昇
茶木 勝行
古谷野 傳市
尾﨑 睦衛
堀田 頼市

《笠岡市》
内田 英光
西原 忠清
角谷 富久
赤澤 秀行
渡辺 利浩
橋本 正弘
細川 嗣彦
松枝 信行
岡本 保彦
船橋 敬一
藤井 憲二

《井原市》
鳥越 勇
田邊 隆視
三浦 信一
清水 正士

《総社市》
根馬 弘文
秋山 利行
平井 準二
朝倉 豊

《高梁市》
加藤 隆志
原田 康平
宮城 禎男
森下 昌昭
冨士田 肇

《新見市》
谷口 和三郎

《浅口市》
岸 義照
岡田 賢己

《早島町》
塚村 宏而
林 勇

《里庄町》
森原 誠一
大和 明

《津山市》
堀田 貞信
佐々木 由恵
御藤 匡令

《真庭市》
前原 孝正
戸田 篤男

《美作市》
杉山 博一
谷口 輝雄

《鏡野町》
川成 和男
吉川 元春
新免 義基

《勝央町》
古山 卓史

《美咲町》
富田 昌志
浦上 次男
矢吹 圭司
金戸 宏司

老人クラブ 一般功労者 26名

《備前市》
竹原 繁

《瀬戸内市》
川上 芳子
横川 直季

《倉敷市》
石本 虎男
末守 和子
野上 玖美子
田中 茂
和気 正紀
眞鍋 征子
松本 芳尚
末吉 輝夫
植田 洋子

《新見市》
藤井 佐代子
瀬川 博
西村 幸一
藤原 孝
坂本 滋夫
上村 忠仁

《浅口市》
三宅 英湖
中野 伯江

《矢掛町》
谷本 昭一郎

《津山市》
重松 丈雄
内田 都子
片岡 明美

《美作市》
福田 隆雄

《鏡野町》
杉田 登誌子

優良老人クラブ 23団体

《玉野市》
大崎硯井会
大崎福寿会

《瀬戸内市》
尾張北友愛会

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

岡山県知事表彰

◆老人福祉功労（老人クラブ役員）

《岡山市中区》
影山　廣和

《岡山市南区》
田村　満須三

《備前市》
船戸　義弘

《新見市》
三輪　智

《鏡野町》
安藤　美雄

◆老人福祉功労（老人クラブ）

《和気町》
田土白梅会

《吉備中央町》
八幡老人クラブ

《倉敷市》
福田南シニアクラブ
和井田第一若葉会
沖熊第五福寿クラブ
鶏尾・田之内融和会
船穂町一之丁
一之会西
川辺西老人クラブ

《笠岡市》
走出笑和クラブ
白石島西の浦
老人クラブ

《井原市》
種長寿クラブ

《新見市》
三山天寿会
哲西地区
老人クラブ連合会

《浅口市》
日原長寿会
谷口常磐会

《津山市》
平安会

《美作市》
大町老人クラブ
すみれ会
岩見田健康クラブ
下山大仙クラブ
上福原福寿会

岡山県保健福祉部長表彰

◆老人福祉功労（老人クラブ役員）

《岡山市北区》
重岡　修身
廣瀬　弘

《岡山市南区》
大森　艶子
杉山　淑美
露無　昭暁

《倉敷市》
石川　幸男
岡本　初枝
亀山　泰美
下畠　重春
千葉　幸男
三宅　哲

《備前市》
南　二郎

《瀬戸内市》
吉田　建太郎

《新見市》
大塚　靜枝
角田　裕
藤井　卓巳
藤田　博一
山森　守

《矢掛町》
鈴木　功

《高梁市》
手塚　幸惠
水川　利之

◆老人福祉功労（老人クラブ）

《倉敷市》
ＯＢ坂田会

《備前市》
金谷老人クラブ
友愛会

《新見市》
上刑部長寿会

《津山市》
案内老人クラブ

山陽新聞社会事業団理事長感謝状

《玉野市》
香川　八重子

《倉敷市》
加藤　満宏
植田　洋子

《新見市》
松永　静人

《勝央町》
三木　正邦
山野上　祐市

《美咲町》
阿井　克己
池田　清弘
倉内　榮

《津山市》
頃安　経隆

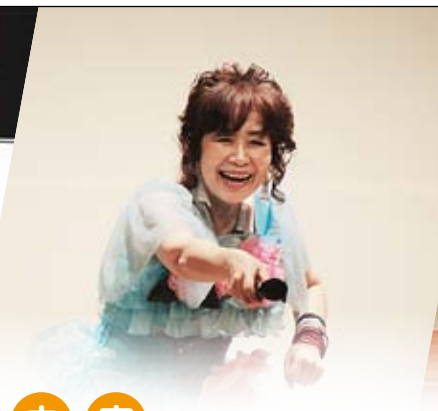
《鏡野町》
定久　正義

《真庭市》
仲島　保

《倉敷市》
道越西部寿クラブ

《高梁市》
仙人村老人クラブ

《真庭市》
福寿老人クラブ



平成29年度

岡山県老人福祉大学

終了

平成29年度（第42次）の岡山県老人福祉大学は、6月8日㈭の倉敷会場を皮切りに始まりましたが、11月30日㈭の岡山会場をもってすべての日程を無事終了しました。講師をお引き受けいただいた先生方、またご受講いただいた皆様、誠にありがとうございました。

今年度の受講者は1、164名（昨年度1、044名）にのぼり、修了者は1、074名、うち奨励賞は135名、栄誉賞は34名の方が受賞されました。

申込者数の関係で、本年度から倉敷会場は2日に分けて開催しましたので、より多くの方に受講していただくことができたと考えています。日程的には、10月23日㈪に東海から関東を通過した台風21号の影響で、県内各地で大雨警報が発令されていたことから、同日の高梁会場での開催が危ぶまれましたが、警報も解除され予定どおり開催できました。こうしたことから、すべての講座を予定どおり実施することができました。

本年度の講義は、濱家先生の雑学に始まり、万代先生の笑いヨガ、樫原先生の健康・長生きにかかる法話、守屋、松下、菅原、加藤の各先生による人生の終末期医療のお話、雷門喜助師匠のお笑いと幅広い内容でした。お楽しみいただけたのではないでしょうか。

今後とも、たくさんの方の受講をお待ちしております。

講義内容

6月
老後の雑学
「絆～ハマイエと笑って楽しく健康に！～」
倉敷芸術科学大学 学長補佐 濱家 輝雄 先生

7月
笑いヨガ「人生まだまだ笑って楽しく！」
（一社）岡山県笑いヨガ協会 理事長 万代 京央子 先生

9月
説法「人間、120歳まで」
総本山善通寺 法主 樫原 禅澄 先生

10月
終末期医療
◇「人生の最期を家で過ごすということ」
守屋おさむクリニック 院長 守屋 修 先生
◇「住み慣れた町で最期まで過ごすには？～家庭医からのアドバイス～」
奈義ファミリークリニック 院長 松下 明 先生
◇「人生の最後を穏やかに生きるために」
高梁市川上診療所 所長 菅原 英次 先生
◇「超高齢化社会と自身の終末期を考える」
かとう内科並木通り診療所 理事長 加藤 恒夫 先生

11月
落語「笑いある人生」
落語家 雷門 喜助 師匠

平成30年度講師予定

◆健康づくり　栗木　剛 先生（motto ひょうご事務局長）
◆老後の雑学　滝沢　忠孝 先生（山陽放送ラジオパーソナリティ）
◆音　　楽　十川　知子 先生（音楽家）
　　國本　卓明 先生（音楽家）
◆健康づくり・介護予防
　　本荘　晶子 先生（日本赤十字社 岡山県支部）
　　井上　美咲子 先生（日本赤十字社 岡山県支部）
◆大 道 芸　田久　朋寛 先生（たっきゅうさん　大道芸人）

第35回都道府県・指定都市老人クラブリーダー中央セミナーに参加して

倉敷市老人クラブ連合会 理事　野田 俊明
井原市老人クラブ連合会 会長　藤原 清和

◇**日程**　平成29年
8月8日㈫～9日㈬
◇**会場**　東京都 全社協
第3～5会議室
◇**参加者**
- 都道府県・指定都市老連における中心的なリーダー及び若手リーダー82名
- 都道府県・指定都市老連事務局メンバー

〈第1日目〉

■開会挨拶

全老連 副会長　松寿 庶氏

■基調報告

「老人クラブ組織の発展に向けて」
全老連事務局長 谷野 香氏

①高齢者を取り巻く社会情勢
2025年には団塊世代が75歳以上になり高齢化率が30％を超え、75歳以上の人口が都市部では急速に増加する。すべての住民が役割をもち、コミュニティを形成し、公的なサービスと協働して生活できる社会、また地域包括ケアシステムは重度の要介護状態になろうとも、最後まで住み慣れた地域で過ごせる仕組み作りが大切である。介護保険により全国一律であった訪問・通所介護は、各市町村の新地域支援事業に移行された。高齢消費者被害は減少していない。昨年度の被害総額は406億円（14、151件）にのぼり、その8割近くが65歳以上のものである。

②老人クラブとしての運動・行動提案
○「100万人会員増強運動」
今後の取り組みとして市区町村老連との協議の場づくり、新規クラブの立ち上げ、解散クラブの防止、単位クラブの増員の4つを提示された。
○「新地域支援事業参画に向けた取り組み」
老人クラブで実施してきた〝友愛活動〟〝健康づくり・介護予防活動〟の経験を活かして地域住民と共に参加しよう。
○「老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーンの推進」
高齢者が主体となって地域の高齢者を守ろう。

③老人クラブ補助金の活用
前年度より減額傾向であるが、国庫補助金には単位老人クラブを対象としたものと市町村老人クラブ連合会を対象にしたものがあるので、仕組みを理解してうまく利用してもらいたい。

④より良い単位クラブ活動のために
リーダーとしての基本事項として活動の記録と保存、会計の透明性、会員の安全対策の3点を留意してもらいたい。

■活動報告

横浜市都筑区老人クラブ連合会
「友愛活動で新地域支援事業への参画を目指す」
過去5年間で169名の会員増。パンフレットを活用した口コミによる1対1の勧誘、未設置地域でのクラブ設置の働きかけ、クラブの活性化と解散防止の活動により会員増強に成功している。

大阪府高石市老人クラブ連合会
「自治会の協力を得て新設クラブの立ち上げ」
会員数は5年で101人の増員、クラブ数は3クラブ増加。連合会全体で一丸となって会員増強に取り組んだ結果と感じた。

■基調講演

中京大学 教授　野口 典子氏
「超高齢・少子化・人口減少社会における高齢期～自律的にいきる、同世代同士が支え合う」と題して講演をいただいた。

第2日目

■行政報告

「介護保険制度をめぐる施策の動向と老人クラブへの期待」
厚生労働省老健局振興課
課長　込山 愛郎氏
介護保険制度が見直され、市町村は要支援者に対して独自の地域支援事業に取り組み対応していかなければならないことになった。地域団体・住民参加による支え合いの体制づくりに、老人クラブも関係者と連携・協力して事業・活動を展開していかなければならない時期になったようである。老人クラブに寄せられる期待も大きく広がってきており、早期対応が必要と考えられる。

■分散会

今回の参加クラブ全クラブが14グループに分かれてA.新設のクラブ作り　B.解散クラブの防止　についてワークショップ方式で意見交換会を行いました。

■閉会挨拶

全老連 常務理事　齋藤 秀樹氏

■感　想

単位クラブの中では、毎年決まっている事業や活動を繰り返し実施していれば良いという感覚であったが、セミナーに参加して、これからの老人クラブの事業の取り組みや活動内容の方向性について、しっかりと思考していかなければならないと感じました。それぞれ関係団体との連携体制を密にして、地域に密着した取り組みを展開していきたいと考えています。

第29回老人クラブ女性リーダーセミナーに参加して

県老連女性副委員長　福元 秀子

●開催日：平成29年11月16日㈭～17日㈮　●会場：東京都 全社協 第3～5会議室　●参加者数：99名

左から
県老連　福元 秀子
岡山市老連　田村 満須三
県老連　延原 愛子

第1日目　11月16日㈭ 13：30～17：00

■開会挨拶

全老連 理事・女性委員長　伊藤 八重子氏

■基調報告

全老連 事務局長　谷野 香氏

①地域共生社会の構築
すべての住民が役割を持ち、支え合いながら自分らしく活動できる

②老人クラブとしての運動
声かけ、戸別訪問、クラブ新設、解散防止、自治会等他機関と連携

③今後の取り組み
特に女性リーダーが役割を担いクラブの解散を防ぐ

■事例発表

○仙台市老連 副会長　久道 悦子氏
・若手委員を増やし、地域で高齢者が安心して暮らせる社会
・日中一人暮らしの方が、行くところがある、会う人がいる、する事がある居場所づくり

○広島市老連 理事　木原 和子氏
・みんなで考え活動していく事
朝といわず昼でも夜でも会えば笑顔で声かけ、町内の人達は「知る権利」
会長は「伝える義務がある」

○熊本県老連 副会長　関 祐子氏
・スポーツクラブで月一回大会を開き賞品を渡している
・健康づくりとウォーキング
・活動に参加の方々も高齢なので若手の方がリーダーとなっている

1日目のまとめ

◎女性の努力を認めてもらう。
◎明確な理由があるわけではないが女性が活発に頑張っている。

第2日目　11月17日㈮ 9：30～14：00

■ワークショップ

全国消費生活相談員協会　鈴木 伸子氏
「気づいてつなごう！高齢者の消費者トラブル防止のために」（寸劇）
・見守りサポーターの役割
①情報を伝える
②困っているサインを気にかける
③被害防止のため関係機関につなげる

2日目のまとめ

◎声かけからつながり、信頼関係が生まれ、相談等が出来る。

■閉会挨拶

全老連 常務理事　齊藤 秀樹氏
・認知症初期の検査をうけよう
・介護保険制度を活用し、地域みんなで助け合い、必要な人に必要な手だてをする。

■感　想

このたび、初めて「女性リーダーセミナー」に参加させていただきました。
ドキドキ、ワクワクでしたが全国の皆様の活発な意見を聞くことで、より地域でお互い支え合い助け合いながら生活していく事がとても大事だということを勉強しました。女性は女性らしく、かわいらしく、優しく、にっこりしている事。セミナーで学んだ事を生かしてこれからも頑張りたいと思います。

第46回 全国老人クラブ大会が京都で開催される

メインテーマ 「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」

第46回全国老人クラブ大会が10月18日㈬～19日㈭、京都府京都市において全国から1、600名の仲間の出席のもと、平安神宮前にあるロームシアター京都とみやこメッセにて盛大に開催されました。岡山県老連からは表彰者8名、一般参加者6名、岡山市老連からも表彰者3名、一般参加者3名と「演じる活動」での発表者40名が参加しました。

初日はテーマ別に

○第一部会「老人クラブ活動を新地域支援事業に活かす」

○第二部会「組織的推進による会員増強運動の展開

○第三部会「演じる活動」

の3つの活動交流部会に分かれ活動事例の発表などが行われました。

第一部会では3例の事例発表がありましたが、サロン活動を中心とした場づくり、地域づくりの大切さが発表されました。いろいろな角度での取り組み、諸策も参考になりました。

第二部会は老人クラブにとって活動の本質に触れる大きな課題でもあります。全国から選ばれた3つの事例発表がありましたが「絆」、「組織」、「活動の活性化」など推進のキーワードがしっかり主張され、その策・努力・結果について多くの内容が参考となりました。

第三部会は全国から6つのクラブの舞台発表がありました。岡山市老人クラブ連合会からは芳泉学区泉田白寿会、南輝学区女性部による、郷土芸能寸劇「おかやま桃太郎伝説」「桃太郎音頭」「下津井節」が実演されました。皆さん生き生きとした表情でそれぞれの役を演じており、全国大会という晴れの舞台に立てて、良い経験になったとの事でした。

第2日目はロームシアター京都にて講演・式典が行われました。式典前に真宗大谷派僧侶　川村妙慶先生による「心の荷物をおろす108の知恵―一人一人が輝く生き方に―」と題しての講演がありました。先生は長年「心の問題」に取り組まれており、今回も老後の楽しい暮らしの鍵はお心にあるとの話が中心でした。先生ご自身の若かりし頃の人生経験も踏まえて、社会で一仕事を終えた高齢者にとってこれからの第二の人生はどうあるべきかを問いかけた数々の知恵をお話して頂きました。確かに高齢者のこれまでの人生は知識・経験・思い出など十人十色ですが人生の区切りとしていったん心の荷物を大地におろし、荷物の点検をしっかりして澄みきった心でこれからの人生を歩んでいただきたい・・・との説法でした。確かに「健康づくり」を推進していて、活動のほとんどが体力運動というのが実態です。今健康で問題となっている「認知症」「躁うつ病」「ストレス」など心の問題がこれからの大きな課題になるんだなと痛く心に残りました。アトラクションは宮津の宮津祭「浮太鼓」の演技を堪能させて頂きました。三歳の子供から大人に至るまで、見事に太鼓を打つ・踊るがリズミカルに演じられ感動させられました。

日程の最後は式典にて5年に1度ごとの表彰である厚生労働大臣表彰と、全国老人クラブ連合会会長表彰が行われ、大会宣言を承認して京都大会の幕は閉じられました。なお、来年度は12月4日㈫5日㈬に沖縄県宜野湾市で開催されます。

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

岡山県関係の受賞者は次の方々でした。おめでとうございました。

◆厚生労働大臣表彰

「育成功労表彰」

山本　克彦
元岡山県老連副会長

小林　寿満夫
岡山県老連副会長

山上　勤
岡山市老連会長

「優良老人クラブ」

福南老人クラブ山王会
（津山市金屋・小桁・下種・押渕・荒神山町内）

◆全老連会長表彰

「育成功労表彰」

安藤　美雄
鏡野町老連会長

吉田　建太郎
岡山県老連副会長

守屋　和人
元倉敷市老連理事

鳥越　幸子
岡山市鹿田学区老連副会長

遠藤　剛
岡山市老連副会長

「優良老人クラブ」

高岡老人クラブ
（真庭市上中津井地区）

長屋長寿会
（新見市長屋地区）

大谷青寿会
（津山市大谷地区）

「永年勤続表彰」

髙橋　美差子
倉敷市老連事務職員

参加報告

吉田　建太郎

この度、全国老人クラブ連合会会長表彰（育成功労表彰）を受賞いたしました。これもひとえに岡山県老連、市町村老連の皆様のご指導・ご支援の賜物と思っております。

これまでは「健康づくり」を主にクラブ活動の指導・推進をして参りましたが、なかなか力不足で活性化につながっていない現実があります。これからは生活支援を主目的とした総合事業が全国的にスタートしたことに合わせ、さらに「地域づくり」「友達づくり」をより積極推進することによって「魅力ある老人クラブ」の実現を計っていきたいと考えております。結果として私たち高齢者にとって住み慣れた地域で、仲間とともに支えあい、助け合って暮らせる地域社会を実現し、またその実現が会員増強につながってくれることを期待しております。関連団体との連携・地域交流・リーダーの養成他、世代・地域団体との交流が実現の大きなカギを握っていると考えております。今後ともよろしくご指導・ご協力をお願い申し上げます。

山上　勤

この度、岡山県、岡山市として初めて全国老人クラブ大会の演じる活動に出演いたしました。結果として実力を精一杯表現した結果です。会場内は笑いに包まれ、温かい雰囲気のまま演技を終了することができ、とても充実した1日を過ごしました。

今回は、泉田白寿会が、南輝女性部の力をお借りして合同で出演をさせていただきました。また県・市の老人クラブ事務局にも大変なお力添えをいただき全国の仲間に立派な芸を披露することができましたし、仲間の皆様に感謝・感謝の言葉しか思いつきません。これより先の経験を糧に、これまでは、それぞれの地域にしっかりと根を下ろしご活躍の皆様に長年培ってきた多様な社会参加で、生き甲斐づくり・地域づくりでしっかり応援をしていきたいと考えています。

会員の声

趣味の写真撮影で惚け防止

笠岡市老人クラブ連合会
生江浜高寿会
会長　松田　勝由　79歳

学生時代には写真クラブ活動でフイルム撮影し、現像と焼き付けをして楽しんでいたものでした。

卒業後は公務員として勤務し10回の転勤と単身赴任を繰り返し、仕事一筋で60歳に定年を迎えました。その後、関連の仕事に65歳まで就き、振り返ると無我夢中の人生でした。これからはゆとりある楽しい人生が出来ると思っていたら、いつのまにか家では邪魔者扱いにされ、日々の時間を過ごすのが長く感じてしまい困っていました。

そんなときに偶然、日本写真クラブの県役員である知人から誘われて写真教室に加入し15年が過ぎました。

今はデジタルカメラでの撮影で技術力がなくても『ニコン・キャノン・リコー』等の大手メーカーのカメラを使用し、撮影も自動オート、レンズも広角から望遠のレンズで焦点も『お任せ撮影』。パソコンに入力して再修正してもらい、プリンター印刷しています。

月1回写真教室に提出する4枚の写真撮影に出かけるのが最近、おっくうになりました。しかし、それでも写真撮影は凝れば凝るほど、奥行きが深く、また、撮影写真の題名の選定が困難なため、題名の的確な言葉を探し出すのがある意味で頭の体操になっています。

翌月の教室での先生の講評が楽しみですが、審査順位は気にせず撮影を楽しんでいます。

これからの孤独な人生を惚けずに楽しく生きるため頭と身体の体操として写真撮影を楽しんでいます。

画題『何かな』

趣味で気分転換

早島町老人クラブ連合会
会長　薦田　紀久男　73歳

長年の会社生活を終え11年が経過した現在、老人クラブ連合会会長及び町行政の、種々委員会の委嘱委員、また、長年勤めた会社の退職者組織の会長を受ける等々、結構、忙しい毎日を送っている今日この頃です。

会社生活時は仕事の忙しさにかまけ、地域との関わりは妻任せで、殆ど関与はしませんでした。

その分、退職後は、地域の事に関して私にでも貢献できることがあれば進んで取り組もうと思い、頼まれれば何でも引き受けましたが、如何せん、会社での仕事と違い、ボランティア性の強い事業運営は非常に難しく、事案の処理等解決に度々悩んでいますが、その悩みの解消策として、趣味に目を向けて、気分転換を図る事を心がけています。

趣味の一つとして、二十数年前から始めた、古典園芸植物（石斛（せっこく）、風蘭等々）の栽培に、力を入れるようにしています。中でも「石斛」の育成は、奥が深く、なかなか満足のいくような姿に成長しませんが、春の芽吹き、並びに清楚な開花の美しさに魅了されており ます。また、時として、親株より変化した新芽が出ると多いに感動しております。日常、四季折々の「石斛」の姿を、時を忘れ見入っています。

又、もう一つの趣味として、会社を退職後本格的に練習に取り組んだ「ゴルフ」をする事です。なかなか上達しませんでしたが、競技をしている時の爽快感は何事にも変え難いものであると共に、ゴルフコースを人より多く歩く事、体を動かす事で、健康増進に繋がっていると思っています。これからも私の生涯スポーツとして続けていきます。

今取り組んでいる種々の事業は、高齢者が何時までも、「ゆとりと豊かさのある人生」を送る、を究極の目標として展開しています。

老人クラブの基本理念である【生きがいづくり】【健康づくり】【仲間づくり】【地域づくり】を活動の原点として、目標に近づけるようがんばっています。

自助は限界、共助で農村美化

玉野市老人クラブ連合会
東田井地東江会
会長　坊寺　美彦　82歳

今や人生90年代の時代と言われています。私の郷土は児島半島の東端に位置し、南は波穏やかな瀬戸の内海に面し、自然の美観に恵まれ、気候は温暖で、風光明媚な所です。

皆様もご承知のゴルファーの石川遼君が優勝した東児が丘マリンヒルズGCの在る地区が私のグラウンドです。農家の後継ぎにも関わらずサラリーマンの世界へ、60歳で定年退職、40年ぶりに帰岡し現在に至ります。

老人会には帰岡2年後に入会し、定番のカラオケ大会、グラウンド・ゴルフ大会、演芸大会、親睦旅行、世代間交流等の行事に参加しております。

一方で農家の後継で在るため、温室（ガラス室）及び田畑などの管理もあります。60歳代は農作業も苦に成りませんでしたが、年齢を重ねるに従い身体の老いを感じていた折、高齢化と後継者不足の影響で農村地帯は年々耕作放棄地が拡大する現状を懸念し、地区で農業に取り込んでいる住人10数名と地元の土地を守る組合（ふれあい農園）を立ち上げ、放棄地の再生事業に取り組んでいます。

市の公助で圃場を整備し、雑穀作物栽培に限定されますがソバの栽培、収穫、そしてそば打ちのイベントも企画実施しました。

栽培作物はタカキビ、エンドウ、大豆、クワイ等に拡大しています。

組合員との共助で放棄地の拡大は抑制されています。農園の設立は有意義であり、栽培面積の拡大が目標ですが、近年の異常気象と鳥獣（イノシシ等）による作物被害が拡大し、苦慮しています。

共助による社会への奉仕は限界か、いや高齢者時代の当事者である私たちは今こそ決意新たに生きがいを求め、わが身を認識し、適度な運動、適切な食により、健康寿命を守ると同時に、共助で自然や人と人とのふれあいを深めることが出来ればと思います。

老人クラブ活動に励まされて

奈義町老人クラブ連合会会長
西原桜美会会長
元番　實　84歳

奈義町は、県北東部の自衛隊日本原駐屯地のある人口約6、100人の小さな町です。

高齢化率は33％で、町老連の会員数は、21クラブ・963人です。会員増強に力を入れた結果、前年より54名増やすことができました。

町老連の活動としては、ゲートボール大会、グラウンド・ゴルフ大会、親睦スポーツ大会、会員日帰り研修会、パソコン教室等を行っております。

10月に行いました親睦スポーツ大会は、今年で34回になり参加者360人で、親睦を図りながら、昼食を取り、楽しい一日を過ごしました。

私が、単位クラブ西原桜美会に入会したのは、平成14年で65歳の時でした。2年目に副会長になり、途中前会長の病気により、1年で会長を引き継ぎ現在に至っています。

西原桜美会の活動は、会員数が67名で、毎月行事予定表をつくり、会員に配布します。

定期的な活動としましては、毎週月曜日と木曜日の午前中は、ゲートボール、火曜日と土曜日の午前中は、グラウンド・ゴルフの練習を行います。また、毎月1回9時から昼過ぎまで地域サロンを開催しています。講師を招いて講話を聴いたり、囲碁ボールをしたり、会食懇談をして楽しく過ごしています。参加者は45名程度です。

こうした町老連、西原桜美会の活動に、多くの会員が参加して認知症の予防のために努力しています。私も84歳になりましたが、会員の皆さんがついてきてくれるのが励みとなり楽しみです。これからも会員増強に力を入れたいと思います。今年、二度病に遭い入院しましたが、これも皆さんの温かい言葉に支えられて元気になりましたので、恩返しと思い会長任期中は努めたいと思います。

四季の匂い

美咲町老人クラブ連合会
中老人クラブ
会長　岡田　寿　68歳

個々人に記憶を呼び起こす光景、音、味などがある。私は匂いで情景を思い出すことがある。子どもの頃に吸った匂いに行き当たる。

春には粗末な弁当持参で小学生の遊び仲間と花見に出掛けた野山の匂い。その匂いで『あっ、春盛りだ』と感じる。あの匂いは？三十路も過ぎて気になり、ある年の春、思い出の匂いに出会った。周辺の花を嗅ぎ回り、キササギ（ヒサカキ）の花にたどり着いた。『あぁこの花だ』子どものころに遊んだ春の匂いにようやくたどり着いた。

私の四季の香り匂いは何だろうか。

夏は牛の餌にする干し草。夏休みに畦草を刈り干す手伝いをする。干しあがって集めた干し草を布団にして手伝い半分で遊んだ時の干し草の匂いだ。

秋は稲穂木を抜けて変わる稲の香ばしい匂い。子どもの頃は各家の決まった稲穂木場があり、7～8段の高穂木が集落の風物だった。側を通ると匂ってくる。現在、我家だけとなった高穂木だが、この匂いを楽しみに難儀な作業を続けているのだろうか、とふっと思う。

冬は炬燵の炭の匂い。一家団らんの堀炬燵に炭を足しもぐり込むと一酸化炭素か二酸化炭素か知れぬが炭がおこる匂いが頭に残っている。炬燵に入った親父の足の匂いには閉口したが、亡き父の懐かしい思い出の匂いでもある。

思い出すと子どもの頃に体験した匂いばかり。現代人は匂いに過敏に反応し、匂いを消したり付けたりが流行っている果たしてこれでええんじゃろうか。きれい社会の落とし穴にならねば良いのだが。

稲穂木と雲海　日本の原風景

Topics（とぴっくす）

県下各クラブの活動紹介

真庭市

久世支部シニアスポーツ大会開催

真庭市久世支部シニアクラブ連合会　広報委員　前原 孝正

真庭市は、中国山脈の麓旭川源流に始まる清流に沿って連なる里山で、蒜山を代表とする観光にも恵まれた地域です。その中で久世は市のヘソともいえる所で、商工業地、市役所のある中心的地域と自慢できます。

真庭市老連傘下の久世支部の会員数は、23クラブ741人で構成されるシニアクラブです。

会員の健康保持と生きがいを高めるため、高齢者福祉の増進を図ることを目的とした年間行事のひとつであるスポーツ大会が、今年度第13回を迎え9月5日に開催されました。

開会式には、太田市長より、「諸先輩方の元気と明るさを目にして大きな喜びを感じます。今後ともこの力を真庭市発展のために多くのご協力を戴きたい」との激励の祝辞を頂戴し、輪投げ・ゲートボール・スナッグゴルフ・玉入れの4種目を地区対抗の15チームで争いました。

昔に比べ、核家族化と就業年齢の上昇等過疎化の影響を受け、高齢化と参加人数も減少してきましたが、「人生100年時代」が叫ばれる時、90歳以上の競技者も3名参加されました。最高齢者93歳の池田さんに感想を尋ねると、「若い人との一時は楽しく若返る力が貰える」と話され若々しく矍鑠（かくしゃく）としたプレーで活躍されていました。

競技そのものは単純で体力はあまり必要ではないですが、熟練を要する種目となっており、大きな歓声と声援に溢れ、また、旧交を温める出会いの大会となりました。

大会実行責任者である支部会長の思いは、「元気で明るいシニア会員で地域の長寿社会形成に貢献できる大会です。真庭市すべての老人クラブの活動を活性化する起爆剤として、市の中心地久世より発信できるよう願っています。」と熱く語られました。

今後も継続できる活動となる様願っています。

吉備中央町

会員が健康で、地域は美しく

吉川老人クラブ　吉備中央町老人クラブ連合会　会長　井上 弘志

吉備中央町（旧御津郡加茂川町・旧上房郡賀陽町の2町が平成16年10月1日合併で誕生）は、岡山県の中央「へそ」にあたる高原の町であり、その町の南東部に位置する古くからの農村地区が吉川です。吉川老人クラブは、南北2つに分かれています。同じことをするのだから、1つでもよいのですが以前から2つになっています。本年度の会員は、南70名・北52名で新加入は11名でした。吉備高原都市地域は別組織となり吉川とは別のクラブです。

全体活動の主なものは、まず4月の総会で始まります。近年は移動総会が多く、近くの送迎をして下さる施設で行うことがほとんどです。今年は、国民宿舎サンロード吉備路で行いました。

また、研修旅行は、年1回近回りの見学場所を選んで実施しています。今年は鳥取砂丘で砂の芸術を鑑賞しました。さらに10月には有志で、グラウンド・ゴルフ大会（本年の参加者は43名）を行います。

平素の活動では、月々、吉川八幡宮・吉川公民館の外回り・重森三玲記念館・資料館（元吉川村役場の庁舎＝明治時代の由緒ある建物）等を清掃しています。草取り、草刈り、掃き掃除などが中心で、清掃が終わると、茶菓子やコーヒーで世間話となります。保育園や学校から要請があればその旨を連絡したり、次回の活動を確認したのち散会します。ちなみに、5月、10月は吉川小学校の児童も活動に協力してくれます。

そのほか、吉川小学校の野菜作りの指導、その出来た野菜を一緒に食べる収穫祭、12月のしめ縄作りの指導も続けています。長く続いているので、5・6年生には素晴らしい作品を作る児童も増えてきました。また、最近では親子で作ったりもしています。

吉川保育園とは、交流会や芋煮会等で交流をしています。神護寺では保育園の園児を中心に月遅れの花祭り、地蔵祭り（交通安全指導）を協賛しています。また、年末には、吉川八幡宮、吉川公民館の門松作りも行います。このように地域を美しく彩り、会員も健康でいられるよう活動しています。

鏡野町

ハツラツサークルで楽しく元気に

鏡野町　成段芳寿会　会長　加納 正之

私の住んでいる鏡野町古川成段地区は、92世帯あり60歳以上が112人で、高齢化率が33%となっています。

今までの老人クラブ活動は、輪投げ大会・ゲートボール大会などで、日ごろから元気で足腰の達者な人でなければ参加して楽しむことができませんでした。

そんな中、町の地域包括支援センターから「“ハツラツサークル”を立ち上げてみませんか」とお話があり、老人クラブで「やってみよう」と意見が一致し、実施することになりました。

このサークルは、自主運営で週1回開催、筋力アップ体操を通して、体力の維持向上を図り、おしゃべりやお茶会で閉じこもりを防ぎ楽しく集う場になっています。

参加した皆さんは、「集まることでみんなの元気な顔が見える」「普段会えない人に会える」「話ができる」と毎週楽しみにしています。普段の生活の中で生きがいや意欲の向上につながっているようです。

今後も老人クラブ会員自らが地域の活動に積極的に参加して、支えあいながら健康で楽しく長生きできる地域になるよう頑張っていきたいと思います。

高梁市

有漢地域老人クラブの活動

高梁市有漢地域老人クラブ　会長　大月　進

有漢地域老人クラブのある、有漢町は岡山県中央部に位置しており、町の中央部にある常山公園には、町のシンボルである『石の風ぐるま』があり、多くの方が観光に訪れています。また、米やブドウなど多くの農産物を生産するのに適している地域でもあります。有漢地域老人クラブは、町内8単位クラブを以って平成7年に設立し、22年目を迎え、会員数は240名で、3つの部を設けて各種事業、行事等を企画し、活動を行っています。

健康推進部では、『いつでも』『どこでも』『だれでも』人と接する機会が増え、身体を動かすことにより健康寿命の延伸に繋がると言われているグラウンド・ゴルフをスポーツとして位置づけ、月例会として毎月第3水曜日に練習会を行い、練習の成果を発揮するべく年2回の大会を開催しております。また、「元気の出る会」と称して、町内の単位クラブが集まり、健康に関する各種講演会等を行っています。

総務企画部では、各種研修会や学習活動への参加、また、広報紙を作成し、クラブ活動の普及に努めております。

女性部では、有漢地域の女性会員が集まって手芸教室を開催したり、新年を迎えるにあたり、お正月用の寄せ植えなどを行ったりしながら情報交換、交流を図っています。

また、次世代育成支援に力を入れており、地域の小学校児童1・2年生を対象としてコマ回し、けん玉、お手玉、あやとりなどの昔遊びを通じた交流を活発に行っています。本年度は、6年生を対象として昔の有漢町の様子や出来事などを話し、昔の事を後世に繋げる取り組みも行っております。

引き続き、有漢地域老人クラブでは、地域づくりの組織として、また、会員促進に向けた取り組みや新たな活動など工夫を凝らしながら、活動を行っていきたいと思います。

瀬戸内市

老人スポーツ大会で一喜一憂

瀬戸内市老人クラブ連合会事務局　木下 武夫

我が瀬戸内市老連邑久支部は8地区30クラブ会員2,163人の巨大組織ですが、市制発足以来恒例行事（13回目）となっているのが、毎年10月の第1週金曜日に行う老人スポーツ大会です。「邑久町内の高齢者がスポーツを通じ、互いに交流し親睦を深めるとともに、体力の向上、健康の維持・増進に対する意識を高める。」を目標に350人近い高齢者が一堂に会し、ニュースポーツの競技に一喜一憂する一大イベントであります。

競技は得点競技4種目、⑴クロリティー（輪投げ）⑵室内グラウンド・ゴルフ ⑶ラケットスプーンレース ⑷玉入れなどです。

各競技とも1チーム10人の選手で9チームが地区対抗戦を繰り広げます。応援合戦でも盛り上がります。最後に「皆で踊ろう！瀬戸内音頭！！」、市民の有志が作詞作曲した、瀬戸内市の特産品「オリーブ」や文化遺産「備前長船の刀剣の里」、詩人「竹久夢二」や「喜之助人形劇」などを歌い込んだPR音頭の歌に合わせ、邑久B＆Gアリーナの会場いっぱいに参加者全員が2重3重の輪になって踊る様は圧巻です。

このような大会を通じて結束できる組織であるから、クラブの様々な魅力ある事業も積極的に取組むことが出来ているのだと思います。

その他、市老連では、「次世代育成交流事業」として市内幼稚園との交流、また、みずほ教育福祉財団助成事業で「介護予防・健康づくりリーダー養成研修」研修後のキャンペーンイベントの企画開催などにチャレンジしております。これらの活動も結束力で盛り上げていきたいと思います。

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

平成29年度 中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会に参加して

県老連副会長　小林 寿満夫

去る6月29日㈭～30日㈮参加者約300名が一堂に会し、広島県呉市で開催されました。

私は、県老連参加者7名のひとりとして参加しました。また、第一分科会の座長として大会運営に貢献できたので、特に強い感動を覚えました。

◆全体会

基調報告

全老連 常務理事　齊藤 秀樹 氏

少子・高齢化がいちだんと進展していくなかで老人クラブの会員数が減る現状にどう対処していくか、大きな課題である等老人クラブの組織の発展に向けての提案等がありました。

1. 老人クラブ百万人会員増強運動の推進
2. 新地域支援事業計画に向けた取り組み
3. 老人クラブ高齢消費者被害防止キャンペーンの推進

人生百歳時代をむかえて、これに対処できる意欲的・創造的なライフスタイルを考える時代が到来したことを認識しなければならないと思いました。

◆分科会

第一分科会

「のばそう！健康寿命」

○事例発表(1)
岡山県老連　金子 賢一 氏
倉敷市真備地区 箭田長寿会
「タケノコ・いきいき百歳体操の取り組み」

○事例発表(2)
岡山市老連　入澤 桂子 氏
岡山市南区 ゆうゆうクラブ
「のばそう！健康寿命」

○事例発表(3)
広島市老連　好木 恭江 氏
広島市中区幟町老人クラブ
「創作ダンスで絆を強化」

○事例発表(4)
香川県老連　藤田 芳廣 氏
香川県三豊市 上高野長寿会
「上高野長寿会の声かけ・見守り隊」
～笑顔見たくてこんにちは～

第二分科会

「担おう！地域づくりを」

事例発表三例
山口県・徳島県・愛媛県

第三分科会

「がんばる！若手委員会」

事例発表三例
鳥取県・島根県・高知県

◆交流会

○アトラクション

広島市老連会員による民謡・民舞があり、なかでも、老人クラブの歌の振付けは、衣裳・団扇等とあいまってすばらしいものでした。

各県代表1名がカラオケで、会を盛りあげました。

◆講演会

大和ミュージアム館長　戸高 一成 氏

「呉の元気を発信する大和ミュージアム」

平成17年開館以来、国の内外（特に外国）から、年間約100万人の来館者があり、日本国内でも稀有の実績だそうです。敗戦国から世界一の造船国へ、戦いに勝った国（米国等）からの注文を受け繁栄しており、世界一の軍艦大和を造った技術は「技術は死なない」と今も受け継がれています。日本人の技術は優秀なりと原爆の街と、造船世界一という二つの歴史を学びました。

◆全体会（総括・まとめ）

講師　全老連評議員　小川 全夫 氏

最初に、第一分科会の運営について講評され、次に、事例発表(1)岡山県老連の「タケノコいきいき百歳体操の取り組み」金子賢一氏の実践内容をとりあげ高く評価されました。

地域の自然・風土に立脚した生産活動（米・野菜・果樹・タケノコ・竹の利用）をすすめ、社会情勢の変化へどう対応していくかを検討する中で、高齢者の実態から創出した活動「タケノコ・いきいき百歳体操」へ最初は杖を使ってやっと参加していた人が次第に杖を使わないで歩いて参加出来るようになったこと、さらに仲間が増加してきたこと、この仲間が老人クラブへの入会につながってくるきっかけになったこと、これらが全老連・各県老連が最大の努力目標にしている会員増強への実践であるとの事でした、身近なところに解決の道はあると感じました。

高齢者の問題から、地域全体へ、地域を支え、地域に支えられる活動が重要で、特に、その方向性と将来性を評価されました。

また、岡山市老連の「ゆうゆうクラブ」の事例についても、女性会長を中心に、創意工夫した活動の成果を、岡山県老連事例と併せて高く評価されました。

どんな計画でも、地域の関連団体と連携しなければ進展しないと強調されており、その通りであると感じました。

女性委員会 幹事会開催

平成29年9月22日㈮きらめきプラザ会議室において、県老連女性委員会第24回幹事会を開催しました。

延原委員長以下14名の幹事会メンバーに加え、県老連から藤本会長、小林副会長が出席しました。

藤本会長、延原委員長のあいさつに続き、次の議題について話し合いました。

❶2万5千人会員増強運動の状況について

❷新地域支援事業への取り組みについて

事務局から、2万5千人会員増強運動の現状と新地域支援事業への取り組みについて説明し、意見交換しました。

❸本年度の地区別女性リーダー研修会について

現在実施が決まっている備前地区と美作地区の代表から、計画内容の発表がありました。

❹次世代育成支援リーダー養成講習会について

開催日時や講演を誰に依頼するかなどについて協議しました。その結果、開催日は平成30年3月1日㈭女性委員会第34回総会後の午後で、講演は、就実大学教育学部教授の村中由紀子氏と岡山県レクリエーション協会の松尾敏子氏を候補として事務局からお願いすることとなりました。

❺その他

藤本会長が、高齢者地域リーダー研修会の美作会場で「地区別女性リーダー研修会をもっと狭い範囲の地域で開催できないか」との要望があった旨を紹介しました。交通手段の問題を抱え、あまり遠くの研修会には出席しにくい実情も話し合われましたが、結果的には、予算の制約等もあることから、この問題はこれからの課題としてとらえ、現行どおり3地区で開催を継続することとなりました。

午後は、トータルビューティカレッジ岡山の林 美穂先生に「セルフリンパマッサージ&カラー心理学」について、実演を交えた講演をしていただきました。

まず、「頭や手から心を癒す」が近年注目されるようになったこと、そして頭はストレスを受けて緊張状態が続くと、頭皮がガチガチになって頭がコリ、反対にパニックに陥ると頭皮がむくんでゆるくなってしまい不健康状態になること、また手は、ストレスがたまったり気持ちが後ろ向きになると冷たく、リラックスしたり気力が充実している時は暖かいと話されました。

そして、実演指導により、頭のマッサージ方法、手首の関節や手の運動、手や腕のツボ（神門、内関、手の三里）押しを体験しました。また色には、いろいろな意味や能力が隠されており、色を効果的に意識して使えば、心身ともに健やかな日々が送れることを教えていただきました。

1時間あまりのお話と実演でしたが、受講した皆さんから「あっと言う間に時間が経過し、気分もスッキリと楽しい講演であった」との感想が聞かれました。

岡山県老人クラブ連合会事業

▶▶▶大学・研修・講習会

事　業　名	平成29年度	平成30年度
老人福祉大学	岡山・倉敷・津山・高梁（各5回） 受講者数　1,164名	岡山・倉敷・津山・高梁（各5回） **募集受講者数　1,420名**
高齢者地域リーダー研修会	岡山・倉敷・津山・高梁・東備・美作（各会場1回） 参加者数　456名	岡山・倉敷・津山・高梁・東備・美作（各会場1回） **募集参加者数　600名**
地区別女性リーダー研修会	備前・備中・美作地区（各地区1回）	備前・備中・美作地区（各地区1回）
地区別高齢者スポーツ大会	備前・美作地区（各地区1回）	備前・備中・美作地区（各地区1回）

受講対象者：老人クラブ会員及びそれぞれの事業に関心のある地域高齢者などの方が受講できます。

平成30年度地域の元気づくり事業大募集!!

県老連では助成事業として「健康づくり・介護予防事業」「次世代育成支援事業」「シルバー基金助成事業」それぞれの事業を募集しています。
できるだけ多くの老連で活用していただくため、実施できる事業種目もできるだけ幅広くし多様な要望に対応できるようにしています。
経費の使い道など多少厳しいお願いをすることもあるかもしれませんが、ご不明な点等は県老連にお問い合わせください。
皆様のご応募お待ちしております。

シルバー基金助成事業 活動例

●H28津山市老人クラブ連合会
施設訪問

●一人暮らし高齢者の見守り活動
●買い物代行サービス事業
●ふれあいいきいきサロン　など

健康づくり・介護予防事業 活動例

●H28赤磐市老人クラブ連合会
赤磐シニア大学大運動会

●ウォーキング講習会
●体力測定会
●料理教室
●健康教室　など

次世代育成支援事業 活動例

●H28倉敷市老人クラブ連合会
芋ほり体験学習

●見守り活動
●子育て相談会
●昔遊び、昔の暮らし体験、交流会
●郷土の歴史探訪　など

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

情報交差点

◆加入促進表彰◆

28年度に実施した会員加入促進について優秀な成績をあげられた次のクラブに対し、表彰状が贈られました。

29年度事業についても同様の表彰を行いますので、単位クラブ等におかれましては、引き続き、会員加入促進活動の推進を宜しくお願い致します。

《表彰の対象》

表彰の対象は、「会員加入促進委員会」を設置している市町村老連の単位クラブで次のいずれかの基準に該当する単位クラブとする。

（単位クラブ）

①30人以上の単位クラブで平成29年4月1日の会員数が、前年同日（平成28年4月1日）より10パーセントの増員数（純増）以上であること。

②新規に設立されたクラブ又は、休会・解散したクラブを復活させたクラブであること。

該当期間：平成28年4月1日～平成29年3月31日

③その他、県老連会長が特に認めた場合。

※②、③においても30人以上とします。

単位クラブ（57団体）

倉敷市 21クラブ	帯高八光会
	不洗睦会
	花の街老人クラブ
	平田北福寿会
	日ノ出町２丁目長寿会
	二子万寿会
	松寿会
	藤戸長寿会
	田ノ上幸せ会第二
	カトレアの会
	茂浦第二長寿クラブ
	水島すこやかクラブ
	田之浦第５若潮会
	田和悠遊クラブ連合会第一クラブ
	赤崎第一シニア友愛クラブ
	赤崎第三シニア友愛クラブ
	鶏尾・田之内融和会
	尾崎長寿会
	妹長寿会
	第２二万長寿会
	箭田北長寿会
笠岡市 1クラブ	吉田西長楽会
井原市 2クラブ	梶江鶴寿クラブ
	大江福寿会
新見市 1クラブ	三光会
備前市 9クラブ	坂根老人クラブ
	新庄第一長寿クラブ
	山田原老人クラブ
	東小路ゆうあいクラブ
	日陽小路ゆうあいクラブ
	四軒屋ゆうあいクラブ
	宮奥ゆうあいクラブ
	三軒屋東ゆうあいクラブ
	三軒屋ゆうあいクラブ
瀬戸内市 4クラブ	せとうち晴ればれシニアクラブ
	潤徳友和会
	田辺里老人会
	富岡東老人クラブ
真庭市 5クラブ	新町老人クラブ
	水田東老人クラブ
	中町おきな会
	悠々クラブ
	若返り会
美作市 7クラブ	向原・美久津長寿会
	朽木みずほクラブ
	大原健康クラブ
	楢原中喜楽会
	竹田喜楽会
	福本福寿会
	尾谷下火打谷老人クラブ
浅口市 2クラブ	鳩ケ丘宝寿会
	町寿会
矢掛町 2クラブ	山田老人クラブ
	三谷老人クラブ
吉備中央町 3クラブ	岨谷老人クラブ
	宮地老人クラブ
	八幡老人クラブ

新規クラブ（5団体）

倉敷市	小溝西ー B シニア・クラブ
	あちメロウクラブ B
	第３二万長寿会
	玉川町和み会
赤磐市	友心クラブ

復活クラブ（2団体）

倉敷市	観音台老人クラブ
	玉島長尾高瀬通し老人クラブ

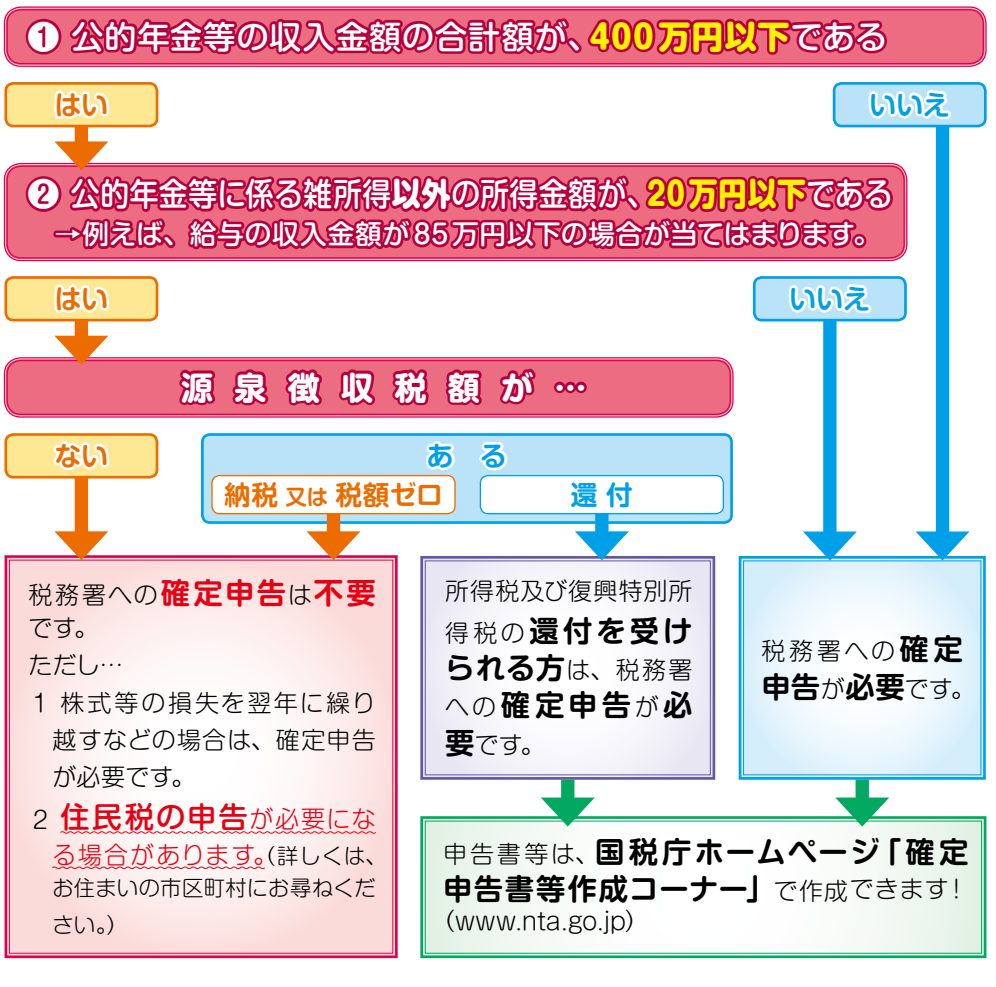
合計：64団体（12市町村）

◆税務署よりお知らせ◆

公的年金等を受給されている方へ

確定申告が不要になる場合があります!!

公的年金等を受給されている方は、以下のフローチャートにより所得税及び復興特別所得税の確定申告の要否を確認してください。



医療費控除の領収書が提出不要となりました

明細書を作成して提出すればOK!

平成29年分の確定申告から、領収書の代わりに**医療費控除に関する明細書**の添付のみで申告ができるようになりました。

※医療費の領収書は自宅で5年間保存する必要があります（税務署から求められたときは、提示又は提出しなければなりません。）。

※医療保険者から交付を受けた医療費通知を添付すると、明細の記入を省略できます（医療費通知とは、健康保険組合等が発行する「医療費のお知らせ」などです。）。

(注)平成29年分から平成31年分までの確定申告については、医療費の領収書の添付又は提示によることもできます。

申告会場は大変混み合いますので、確定申告書の作成は、便利な「確定申告書等作成コーナー」で！

作成した申告書は

e-Tax
・還付がスピーディー
・添付書類の提出省略
※事前準備が必要です。

e-Taxで送信又は書面で提出

書面提出
印刷して郵送等で提出

マイナンバーの入力と本人確認書類の提示又は写しの添付が必要です。ただし、e-Taxで送信すれば本人確認書類の提示等は不要です。

詳しくは 国税庁 検索

老人クラブ会員向けに 3つの保険で安心補償 回覧

			① 傷害保険 24時間型	② 傷害保険 活動型	③ 賠償責任保険
補償範囲	ご自身のケガの補償	クラブ活動中	○	○	
		活動中以外	○		
	相手の物・ケガの補償	クラブ活動中			○
		活動中以外			
加入資格		会員	○注1	○注1	
		クラブ			○注2

注1：保険担当者を通じての加入となります。
注2：クラブ全会員での加入が条件となります。

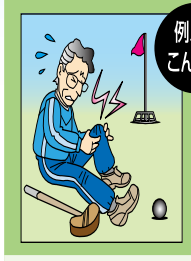
① 傷害保険 24時間型

② 傷害保険 活動型

自分がケガをした時の保険です。
〈病気および他人に与えたケガは対象外です。〉

例えばこんな時 買物の帰りにちょっとした段差につまづき、転んでケガをしてしまった。

クラブ活動中だけでなく日常生活のケガも補償します。



例えばこんな時 クラブ活動でグランドゴルフの試合中に転んで膝を捻挫してしまった。

クラブ活動中とその往復途上のケガを補償します。

対　　象： 老人クラブ会員に限ります。年齢制限はなく、いつでも加入できます。（1人1口加入）
ただし、加入手続きは所属老人クラブの保険担当者が取りまとめる団体傷害保険です。

補償範囲：「24時間型（掛金3タイプ）」と「活動型（掛金3タイプ）」

掛　　金： 〈①24時間型〉お一人掛金年額 10,000円、5,000円、3,500円
〈②活動型〉お一人掛金年額 2,000円、1,000円、500円
補償の詳細は、裏面をご確認ください。

補償内容： 死亡・後遺障害保険金（後遺障害保険金はクラブ活動中のみ）／入院保険金／手術保険金／通院保険金

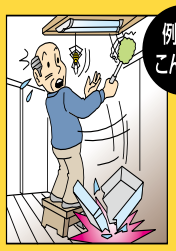
保険期間： 掛金払込み日の翌月1日から1年間

傷害保険加入者特典 デイリーサポート電話相談
- 介護関連サービス ⇒ 介護保険制度、ケアプラン等の介護全般に関わる相談
- 生活支援関連サービス ⇒ 法律、税務、社会保険、暮らしのご相談

※相談先の電話番号は「おぼえがきメモ」に記載されています。

③ 賠償責任保険

他人の物を壊したり、ケガをさせた時の保険です。
〈自分のケガは、対象になりません。〉



例えばこんな時 公民館の清掃中、玄関の電灯交換中に誤って、電灯カバーを壊してしまった。

例えばこんな時 クラブ活動のボール体操で、相手の顔にボールをぶつけてしまい眼鏡が壊れて顔にケガをさせてしまった。

対　　象： 単位老人クラブ（全会員加入）

掛　　金： クラブの全会員数×100円（30名未満の場合は最低引受保険料3,000円）

補償範囲：
- ○老人クラブ活動中の対人・対物（損壊）の損害補償（自動車等の所有・使用・管理に起因する事故は、対象外）
- ○管理下財物（注）の盗難・紛失等（注）は裏面をご確認ください。
- ○初期対応費用・訴訟対応費用特約：支払限度額500万円（1事故）付帯

但し、往復途上の事故およびご自身のケガは対象になりません。

支払限度額： 1億円（詳細は裏面をご確認ください）
※お支払いされる保険金は、事故の損害額や賠償責任割合に基づき、保険会社が査定いたします。

保険期間： 毎年10月1日から1年間

申込方法： 毎年9月15日までに賠責保険専用の掛金払込用紙（払込取扱票）で掛金を払込みください。
加入時に会員名簿の提出は必要ありません。（裏面の引受条件をご確認ください。）

中途加入
「中途加入」および「加入クラブにおける会員の追加加入」は可能です。
・「中途加入」：毎月15日までに掛金の払込で翌月1日からの加入となります。
但し、保険期間は加入月の1日から直近の10月1日までとなります。
・「加入クラブにおける会員追加加入」：届出および掛金は加入年に限り不要です。

公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係
〒100-8822 東京都千代田区霞が関3丁目6-14 三久ビル1階102号
お問い合わせ ご相談 先 03-3597-8770
受付時間 9:30から17:00まで（土、日、祝祭日、年末年始休）
ホームページ http://www.senior-ltd.com/ 老人クラブ傷害保険 検索
メールアドレス hoken@senior-ltd.com
加入申込書等、資料請求先 専用FAX 03-3597-8767

このパンフレットは、「老人クラブ傷害保険（老人クラブ団体傷害保険）」、「総合生活保険（傷害補償）」、「老人クラブ活動専用賠償責任保険（施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険）」についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず、このパンフレットと「概要」「重要事項説明書」等をよくお読みください。詳細は、保険会社よりご契約者である団体の代表者にお渡ししております保険約款によります。ご不明な点等がありました場合には、全老連保険係または取扱代理店、引受保険会社までお問い合わせください。

〈取扱代理店〉有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8769 〈引受幹事保険会社〉東京海上日動火災保険株式会社（担当課）医療・福祉法人部 法人第二課 TEL.03-3515-4144
17-T00966 平成29年4月作成 4

私たちは岡山県老人クラブ連合会の活動を応援しています。

県老連等の行事予定

平成30年度	2月15日㈭・16日㈮	市町村老連正・副会長会議	岡山いこいの村
	2月21日㈬～23日㈮	第15期健康づくり中央セミナー	ロフォス湘南
	2月22日㈭	市町村老連事務担当者会議	きらめきプラザ
	3月 1日㈭	女性委員会総会	〃
		次世代育成支援リーダー養成講習会	〃
	3月16日㈮	平成29年度第3回県老連理事会	〃
		平成29年度第2回県老連評議員会	〃
		シルバー基金運営委員会	〃
	3月27日㈫	地域の元気づくり事業報告会	〃
	4月26日㈭	健康づくり推進委員会	〃
	5月下旬	平成30年度第1回県老連理事会	〃
	6月中旬	平成30年度県老連定時評議員会	〃
		平成30年度第2回県老連理事会	〃
	7月12日㈭・13日㈮	中国・四国ブロック老人クラブリーダー研修会	鳥取県米子市

平成30年度（第43次）岡山県老人福祉大学　日程（予定）

	岡山 岡山市立市民文化ホール	倉敷 くらしき健康福祉プラザ		津山 津山市総合福祉会館	高梁 高梁文化交流館
6月	12日㈫	7日㈭	20日㈬	22日㈮	29日㈮
7月	3日㈫	11日㈬	25日㈬	31日㈫	18日㈬
9月	3日㈪	11日㈫	20日㈭	25日㈫	6日㈭
10月	25日㈭	18日㈭	23日㈫	16日㈫	5日㈮
11月	29日㈭	13日㈫	20日㈫	1日㈭	7日㈬

※日程は講師の都合により変更することがあります。

平成30年度高齢者地域リーダー研修会　日程（予定）

東備	7月 6日㈮	くまやまふれあいセンター
岡山	7月23日㈪	きらめきプラザ
津山	8月24日㈮	津山市総合福祉会館
高梁	8月30日㈭	高梁総合文化会館
美作	9月14日㈮	湯郷地域交流センター
倉敷	10月 2日㈫	くらしき健康福祉プラザ

※日程は講師の都合により変更することがあります。

知事に 新年ご挨拶

新年を迎え、1月5日㈮に県老連を代表して正・副会長全員で県庁に出向き、伊原木知事に新年のご挨拶をいたしました。知事から、「高齢者が増える中、老人クラブの活動は大変重要、県政の推進になお一層のお力添えをお願いします。一緒に頑張りましょう」との激励をいただきました。

本日の記念に、延原副会長（女性委員長）が、女性リーダー研修会において作成した組みひもによる鈴付きストラップをプレゼントしました。

編集後記

明けましておめでとうございます。

1年がたつのは早いもので、酉年から早や戌年です。十二支で戌年は11番目の年、昨年の老人福祉大学である講師の先生が「戌はワンワンだから11番目と覚えてはどうですか、覚え易いでしょう」という話をされていました。確かにそうですね。

本年も仲間の輪を広げ、手を携えて元気で明るく楽しいクラブ活動を進めてまいりましょう。一人ひとりでは小さな力も集まれば大きな力となりますよ。この一年よろしくお願いいたします。

お詫び

本紙 第17号の「会員の声欄」にて、勝央町美野誠美会会長 小林重俊様と美作市讃甘地区老人クラブ連合会会長 春名章良様の寄稿文の表題を入れ違えていました。不手際を深くお詫び申し上げます。

（正）小林重俊様「共に助け合う地域を目指して」
　　春名章良様「人の縁―尺八道」

岡山県老連

老人クラブとは

老人クラブは、おおむね60歳以上の高齢者が地域で自主的に参加しているクラブです。市町村の老人クラブを県老連でとりまとめています。高齢者の経験、知識を生かし、地域社会に貢献するとともに、生きがいと健康づくりのために相互に支え合うことを目的として運営されています。

新規加入大歓迎!!

岡山県

■会員数
148,782人

■クラブ数
2,655クラブ

（平成29年3月末現在）

晴ればれシニア 岡山
（発行部数：50,000部）
発行：㈶岡山県老人クラブ連合会
〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13番1号
岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
（きらめきプラザ内）
TEL（086）226-2877 FAX（086）226-2881
企画・印刷：昭和印刷株式会社
岡山市南区豊成3-1-27 TEL（086）264-6110